



# 廃棄物の処理及び リサイクル事業概要



令和5年度

富良野市 市民生活部  
環 境 課



# 総　　目　　次

## I. 総説

1. 富良野市のあらまし……………1

(1) 富良野市の紹介

2. 清掃事業の沿革……………1

3. クリーンふらの計画……………3

(1) 基本方針

(2) 計画策定と目標年次

(3) 廃棄物の区分・分類及び処理方針

(4) 計画収集区域の範囲

(5) ごみ減量化計画

## II. 富良野市一般廃棄物処理実施計画

1. 一般廃棄物処理の基本的事項……………5

(1) 計画の目的

(2) 処理区域

(3) 計画期間

(4) 処理区域の人口及び世帯数

(5) 処理計画量

(6) ごみ処理の基本体系

2. 普及啓発事業……………7

(1) リサイクル運動・ごみ減量化の意識高揚  
　　のための方策

(2) 教育啓発活動の方策

(3) 過剰包装の利用や再生品の利用促進

3. ごみの排出区分及び収集方法……………8

4. 収集運搬計画……………9

(1) 収集・運搬体制

(2) 収集運搬の許可

5. 一般廃棄物の処理主体及び処理計画……………9

(1) 生活系ごみ

(2) 事業系一般廃棄物

(3) 処理計画

## III. 廃棄物の処理及びリサイクル事業実績

1. 普及啓発活動実績……………11

(1) ごみ減量化、啓発活動の実績

(2) 廃棄物減量等推進審議会の開催

2. ごみ処理関係実績（令和4年度）……………12

(1) ごみの総搬入量

(2) ごみの総処理量

(3) 資源化・焼却・埋立処理率の推移

(4) 粗大ゴミ処理実績

(5) 有機肥料・固形燃料の生産出荷販売実績

(6) 資源回収ステーション・空きびんポスト設置数

(7) 年度別実績の推移

(8) 分別区分と収集処理の推移

(9) 搬入・処理実績（グラフ）

(10) 処理実績（処理フロー）

## IV. リサイクル事業の組織等

1. 機構・事務分掌……………20

2. 施設の現況……………20

《別表1》

3. 廃棄物処理関係歳入歳出実績(R3)……………23

## V. 一般廃棄物の広域分担処理フロー……………24

## 総 説

### 1. 富良野市のあらまし

#### (1) 富良野市の紹介

本市は、北海道上川総合振興局管内の南部に位置し（北緯43° 東経142° 東西32.8km 南北27.3km）行政区域総面積 600.71km の北海道のほぼ中央に位置している富良野盆地の中心都市です。

東方に十勝岳をはじめとする大雪山系の山並み、西方に芦別岳をはじめとする夕張山地の山並みがそびえ、南方には良好に保たれた天然林の大樹海があります。

市域の西方は、この二つの山並みに囲まれて南北に伸びたほぼ長円形の盆地が形成され、その中央部を石狩川水系の空知川が南から西北に貫流し、網の目のように巡る大小の河川は大地を潤し、郷土の大部分を覆う緑豊かな自然環境と地理的条件に恵まれたなかで、農業を基幹産業とし、観光が調和された都市として発展してきました。

本市は明治36年に下富良野村として開村され、大正8年に町制を施行し富良野町に改称、昭和31年、富良野町と東山村が合併し「新富良野町」が誕生、昭和41年5月には富良野町と山部町が合併して、北海道29番目の市として市制を施行しています。

近年は FIS ワールドカップスキー大会の開催地（通算して10回開催）・ラベンダーとヘその街・脚本家 倉本聰氏の脚本によるTVドラマ「北の国から」「優しい時間」「風のカーデン」のロケ地などで知られ、年間200万人近い観光客が本市を訪れます。

令和5年3月31日現在の人口は19,923人、世帯数は10,457世帯となっています。

### 2. 清掃事業の沿革

昭和初期	・馬車で街の中心部だけ収集
昭和34年	・ごみ収集を有料化し、チケット制で軒先収集を開始
昭和39年	・オルゴールで知らせる「持ち寄り方式」に変更
昭和45年	・ごみ収集を無料化
昭和47年 8月	・八幡丘埋立処分場開始（全量埋立処理）
昭和52年	・ステーション方式で収集開始
昭和54年	・市農林部局で農業残渣、生ごみによる堆肥化の調査・研究開始
昭和56年	・八幡丘埋立処分場拡張の地域折衝で、農業被害（カラス・キツネなどの鳥獣による種・苗・作物・肥料袋・子牛への被害、年間見舞金百数十万円）による閉鎖要請があり、閉鎖を確約
昭和57年	・閉鎖問題対応のためごみ処理専任係配置し、八幡丘埋立処分場閉鎖時期を昭和63年3月までとする。
昭和58年	・ごみの3種分別（生ごみ・その他のごみ・乾電池）を試行 ☆ 有機物供給センターの建設着工 ☆ 生ごみの定義：①カラスのエサになるもの ②腐って堆肥になるもの
昭和60年 4月	・ごみの3種分別収集の本格施行 ☆ 有機物供給センター稼働、コンポストの生産開始 ☆ 資源化率 27.1%
昭和62年	・ごみの6種分別モデル地区を設置 ☆ 農業廃棄物処理施設（固形燃料工場）建設着工
昭和63年 7月	・ごみの6種別の本格施行 (生ごみ・固形燃料ごみ・一般ごみ・空きかん・空きびん・乾電池) ☆ 農業廃棄物処理施設稼働、固形燃料の生産を開始 ☆ 御料埋立処分場開始 ☆ 資源化率 48.3%

平成元年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理施設（焼却施設2炉）を建設、12月から稼働</li> </ul>
平成2年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・固形燃料ごみの収集を週2回行う。</li> </ul>
平成3年3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期間（5月～11月）農家地区のごみ収集を開始           <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 一般廃棄物処理計画（クリーンふらの計画）策定</li> <li>☆ 有機物供給センター増設</li> </ul> </li> </ul>
平成4年12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・山部に産業廃棄物処理施設を建設</li> <li>・廃棄物処理条例全面改正</li> </ul>
平成5年3月4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理計画（クリーンふらの計画）改訂</li> <li>・ごみの7種分別施行           <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 「家庭ごみ」「事業所ごみ」に区分</li> <li>☆ ごみの一部有料化（粗大ごみ・多量ごみ・事業系焼却ごみ）</li> <li>☆ 廃棄物減量等推進審議会設置</li> <li>☆ リサイクル推進委員設置</li> <li>☆ 資源化率 56%</li> </ul> </li> </ul>
平成6年6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家地区のごみ収集を通年行う。（一般ごみ・固形燃料ごみ 月2回）           <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 富丘埋立処分場使用開始</li> </ul> </li> </ul>
平成9年1月3月4月12月12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」が公表</li> <li>・一般廃棄物処理基本計画（クリーンふらの計画）改訂           <ul style="list-style-type: none"> <li>（ごみ処理基本計画～リサイクル・タウン計画）</li> <li>（生活排水処理基本計画～クリーン・タウン計画）</li> </ul> </li> <li>・空きびんの共同処理開始（容り法）（占冠4月、南富11月）</li> <li>・北海道が「ごみ処理の広域化計画」を策定</li> <li>・富良野生活圏一般廃棄物広域分担処理検討協議会の設置           <ul style="list-style-type: none"> <li>（1市3町1村で構成）</li> </ul> </li> </ul>
平成10年4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・空きびんの共同処理に中富良野町が参加</li> </ul>
平成11年3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・富良野生活圏一般廃棄物（ごみ）広域分担処理基本計画策定</li> </ul>
平成12年3月6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）改訂</li> <li>・7種分別から、脱焼却を基本として10種分別に変更</li> <li>・ペットボトル分別収集開始（共同処理（容り法）～中富、南富、占冠）</li> <li>・14種別のモデル地区の設置</li> </ul>
平成13年1月3月10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック類分別収集開始（広域共同処理）</li> <li>・一般廃棄物処理基本計画（生活排水処理基本計画）改訂           <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 資源化率 62.1%</li> </ul> </li> <li>・「燃やさない・埋めない」を基本理念とした「14種分別」施行</li> </ul>
平成14年3月8月12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・固形燃料化施設設備更新</li> <li>・生ごみ指定袋を生分解性プラスチック袋に変更</li> <li>・一般廃棄物処理施設（焼却施設2炉）を廃止</li> <li>・衛生用品の広域共同処理開始（上富良野クリーンセンター）</li> </ul>
平成15年3月4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 資源化率 90.3%</li> <li>・空きびん、プラスチック、ペットボトルを中富良野町資源回収センターで広域共同処理開始</li> <li>・環境衛生センターに生ごみ搬入開始</li> </ul>
平成16年3月4月11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 資源化率 93.0%</li> <li>・動物死体を南富良野町小動物焼却施設で広域共同処理開始</li> <li>・農村地区生ごみ収集開始（11月中旬～翌年4月中旬までの冬期間収集）</li> </ul>
平成17年4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭系一般廃棄物収集を5地区収集から3地区収集に月統合</li> </ul>
平成18年3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）改訂</li> </ul>
平成19年4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック類の分別区分の変更</li> </ul>
平成20年3月4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分け方・出し方ガイドブック作成・全戸配布</li> <li>・農村地区生ごみを冬期間限定収集から通年収集に変更</li> </ul>

平成20年 9月	・レジ袋削減（レジ袋の有料化）に関する協定の締結 （市・消費者協会・市内3店舗）
平成22年 2月	・リサイクルマーケット開催開始
5月	・ごみの分け方・出し方ガイドブック改訂
平成24年 8月	・ミニ生ごみ袋販売開始
平成25年 3月	・第二次富良野生活圏一般廃棄物広域分担処理基本計画策定 ・富良野市生活排水処理基本計画改訂
平成26年 4月	・衛生用品の固体燃料化実証実験を通年実施
平成27年 3月	・一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）改訂
10月	・ごみの分け方・出し方ガイドブック改訂・全戸配布 ・ごみステーションを「資源回収ステーション」に名称を変更 ・スプレー缶の排出方法を変更（穴を開けずに使い切って排出） ・コンビニエンスストアで粗大ごみ処理券取り扱い開始
平成28年 2月	・ふらのフリーマーケット開催開始
4月	・病院から排出される非感染性使用済み紙おむつ受け入れ開始
8月	・資源回収ステーション看板更新（3か年計画）
10月	・ごみ分別辞典の検索サイト提供開始
11月	・粗大ごみ収集申し込みを電子申請で受付開始
平成29年 4月	・ペットボトルの分別区分の変更（ラベルをはがして排出）
6月	・事業所用衛生用品袋の試験利用開始
7月	・ごみ分別用アプリ『富良野市ごみ分別ナビ「ごみナビ」』をリリース
10月	・ラップ類の分別区分をプラスチック類に統一 ・ごみ分別説明会開催（全26回）
平成30年 4月	・一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）一部見直し
平成30年 4月	・衛生用品資源化処理事業の開始
令和 元年 6月	・固体燃料ごみ塩分ダイエット開始
令和 2年 8月	・災害時におけるし尿等の収集運搬に関する協定書締結
令和 2年 9月	・災害時における廃棄物処理等に関する協定書締結
令和 3年 12月	・富良野市災害廃棄物処理計画策定
令和 5年 2月	・第3次富良野生活圏一般廃棄物広域分担処理基本計画策定
令和 5年 3月	・富良野市生活排水処理基本計画策定
令和 5年 3月	・富良野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定

### 3. クリーンふらの計画

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第6条第1項の規定に基づき、本市における一般廃棄物処理基本計画「クリーン・ふらの計画」は、ごみ処理基本計画「リサイクル・タウン計画」と生活排水処理基本計画「クリーン・タウン計画」で構築されております。

- (1) 一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画） 改定（令和5年 3月）
- (2) 生活排水処理基本計画 改定（令和5年 2月）
- (3) 第3次富良野生活圏一般廃棄物（ごみ）広域分担処理基本計画 策定（令和5年 3月）

資源リサイクルシステムと廃棄物の適正処理体制の確立により、限りある資源の有効活用と身近な生活環境の保全及び公衆衛生の向上と合わせて廃棄物の排出量の削減を図ることを基本にしています。

#### (1) 基本方針

- ① 自然環境・生活環境の保全に主眼を置いた環境負荷の少ない、より資源の循環利用を基本とした廃棄物処理を行います。

- ② 新たな廃棄物の区分は、リサイクルの可能性や有害性・危険性などを考慮し選択します。
- ③ 排出者の役割分担や責任分担を明確にし、排出抑制・減量化に努めます。
- ④ 再生品の市内活用などリサイクルについて、市民に見える形で推進します。

(2) 計画策定と目標年次

計画目標年次 → 令和14年（西暦2032年）

(3) 廃棄物の区分・分類及び処理方針

廃棄物区分は、現行の14種分別とし、市単独の固形燃料施設の運営管理・沿線1市3町1村による広域処理等適正な循環型処理を実施します。（ごみ処理の基本体系参照）

(4) 計画収集区域の範囲

計画収集区域は、富良野市の行政区域全域を3地区に分割し収集します。

(5) ごみ減量化計画

- ① 住民団体等による資源の集団回収活動等に対する支援を行います。
- ② 消費者、販売店舗等の理解と協力体制を整え、レジ袋、トレー等包装資材を減らす運動を開します。
- ③ 適正な分別がごみ減量化の最大の方策と位置づけ、あらゆる機会を通じて周知致します。

## II. 富良野市一般廃棄物処理実施計画

### 1. 一般廃棄物処理の基本的事項

#### (1) 計画の目的

本計画は、富良野市における廃棄物の排出抑制及び廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理をし、並びに生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。

#### (2) 処理区域

本計画の処理区域は、富良野市全域とする。

#### (3) 計画期間

本計画の期間は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までとする。

#### (4) 処理区域の人口及び世帯数

処理区域人口 19,923人  
処理区域世帯数 10,457世帯

#### (5) 処理計画量

(単位:t/年)

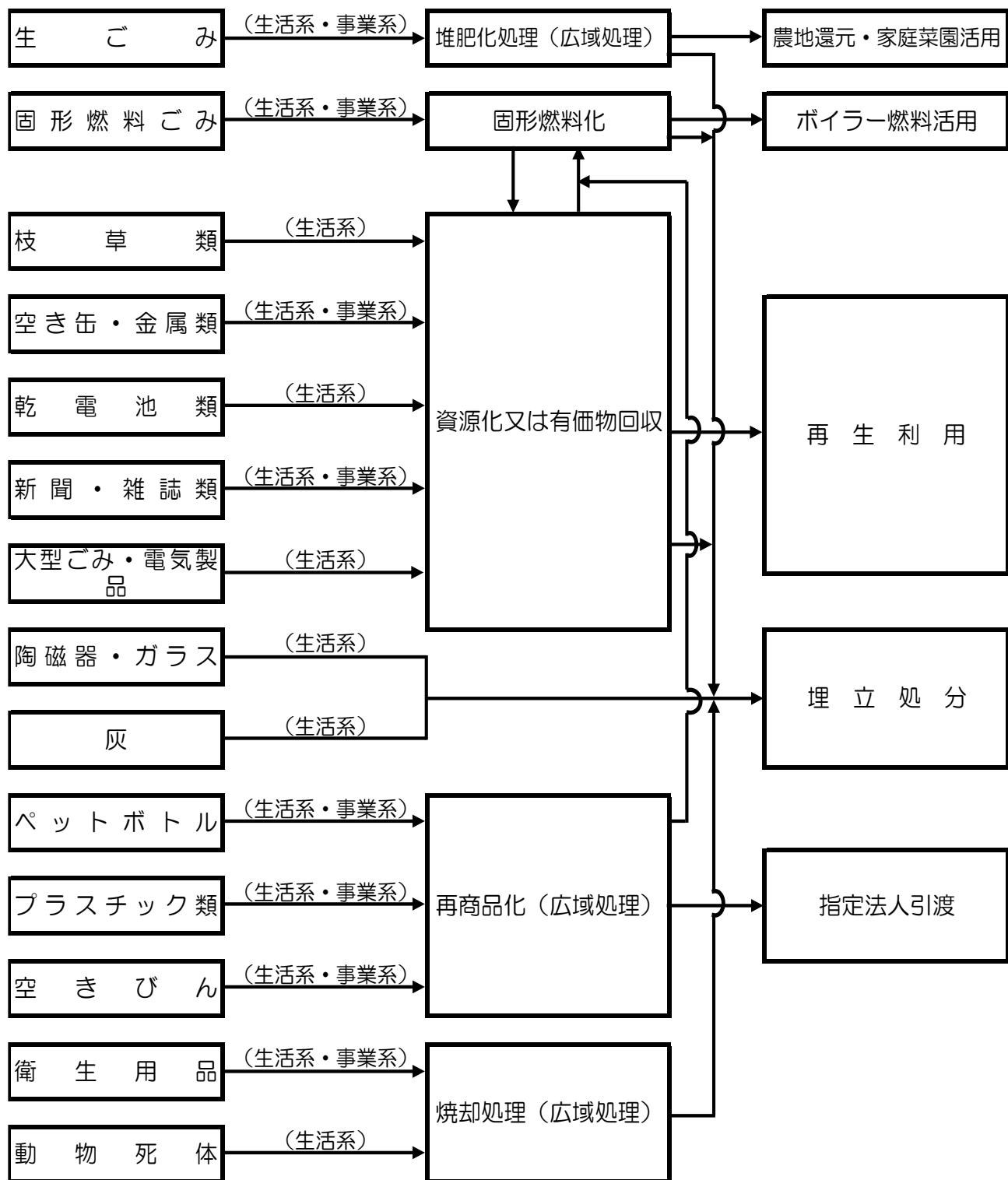
ごみの分別区分	令和5年度処理計画量			備考
	生活系	事業系	計	
① 生ごみ	1,197	750	1,947	広域分担処理
② 枝草類	405	95	500	
③ 固形燃料ごみ	1,320	911	2,232	
④ ペットボトル	91	34	125	広域分担処理
⑤ プラスチック類	265	37	302	広域分担処理
⑥ 空き缶・金属類	151	0	152	
⑦ 空きびん・陶磁器・ガラス	258	64	322	広域分担処理(空きびん)
⑧ 乾電池類	10	0	10	
⑨ 新聞雑誌・ダンボール	345	5	350	
⑩ 大型ごみ・電気製品	81	0	81	
⑪ 衛生用品	361	237	598	広域分担処理
⑫ 灰	16	16	32	
⑬ 動物死体	4	0	4	広域分担処理
⑭ 処理困難物	6	0	6	
合 計	4,510	2,149	6,659	

※広域分担処理：富良野生活圏一般廃棄物（ごみ）広域分担処理基本計画に基づく共同処理

## (6) ごみ処理の基本体系

本市のごみ処理は、次の体系を基本として行うこととする。

〈ごみ処理基本体系図〉



## 2. 普及啓発事業

循環型社会の形成の主旨を理解してもらうために、あらゆる機会を通じてごみリサイクル啓発活動を行い、市民の認識を高めていくとともに、市民参加による普及啓発事業を推進します。

### (1) リサイクル活動・ごみ減量化の意識高揚の方策

- ① ごみ分別に対する住民説明会の開催
- ② まちづくり出前講座「リサイクル GO」の開催
- ③ ごみの不適正排出者に対するごみ分別指導
- ④ 市広報紙（Q & A等）、ホームページによるごみ情報の提供
- ⑤ 地域（町内会）との連携強化による不法投棄及び不適正排出防止
- ⑥ リサイクルセンター学習施設の活用及び施設見学の受入
- ⑦ 資源回収ステーション設置に対する補助
- ⑧ // 看板の整備
- ⑨ 資源回収カレンダーの配布（年3回）
- ⑩ 組織の活用（市廃棄物減量等推進審議会、町内会・区会・市民団体・事業者・関係業界等への周知・協力依頼）
- ⑪ 春秋の環境美化運動による散乱ごみの防止
- ⑫ ペット糞放置禁止の啓蒙
- ⑬ フリーマーケットの開催
- ⑭ ごみ分別アプリの運用
- ⑮ ごみ分別動画の公開

### (2) 教育啓発活動の方策

教育委員会との連携により、小中学生にリサイクルについての学習の場を設ける。

- ① 小学校社会科副読本による環境学習の推進
- ② リサイクルセンター学習施設の開放、体験学習の推進
- ③ 社会见学の受入

### (3) 過剰包装の抑制や再生品の利用促進

過剰包装品を買わない、過剰包装をしない取り組みを積極的に進めるとともに、物を大切にする生活の促進を支援していきます。また、市民・事業者による再生品の需要拡大を図るため、市民団体や事業所、販売店と協力して再生品の利用拡大を進めます。

- ① 簡易包装推進運動の展開
- ② マイバック持参、レジ袋削減の取組みの推進
- ③ 再生品利用運動の展開
- ④ リサイクルマーケットの開催（月2回）

### 3. ごみの排出区分及び収集方法

ごみの排出区分及び処理方法等は、次のとおりとする。

区分	排出方法	収集頻度	
		生活系	
		市街	農村
①生ごみ	指定袋（薄緑）	週2回	直接搬入か又は許可業者に委託
②枝草類	枝 紐結束 草 透明袋	月2回 自己処理	
③固体燃料ごみ	指定袋（黄）	週1回	
④ペットボトル	指定袋（橙）	月2回	直接搬入か又は許可業者に委託
⑤プラスチック類	指定袋（紫）	週1回	
⑥空き缶・金属類	空き缶 指定袋（青） スプレー缶・金属類 透明袋	月2回	
⑦空きびん・陶磁器・ガラス	びん 透明 茶色 その他 陶磁器・ガラス	空きびんポスト 専用回収コンテナ	直接搬入か又は許可業者に委託
⑧乾電池類	乾電池 電球・蛍光管	回収コンテナ 回収店	隨時投入 隨時
⑨新聞・雑誌類	新聞 雑誌 ダンボール 紙パック	紐結束 紐結束 紐結束 紐結束	月2回
⑩大型ごみ・電気製品	大型ごみ 電気製品	有料個別収集 有料個別収集	月1回
⑪衛生用品ペット糞等	指定袋（黄）	週1回	直接搬入か又は許可業者に委託
⑫灰	透明袋	月2回	
⑬動物死体	随时自己搬入		
⑭処理困難物	基本的に販売店で取り扱い		

- ※ 生活系ごみの排出日は、資源回収カレンダーに定められた日とし、指定された資源回収ステーションに排出するものとする。
  - ※ ごみの排出時間は、市街地区は午前9時まで、農村地区は午前8時までとする。
  - ※ 粗大ごみ・電気製品等のごみ処理手数料は、条例の定めによる。
  - ※ 多量ごみを排出する者について、市は運搬すべき場所及び運搬方法、その他必要な事項を指示することが出来るもとする。
- なお、多量ごみの基準は、収集1回の排出量が20kg又は、0.25立方メートル以上とする。

## 4. 収集・運搬計画

### (1) 収集・運搬体制

ごみ処理基本計画に示す「ごみ処理の基本体系」及び「ごみの排出区分および収集方法」に基づき、行政区域内の収集、運搬体制を確保するとともにより効率的な収集・運搬体制の構築を図る。

### (2) 収集運搬の許可

#### ①許可業者数

一般廃棄物収集・運搬の許可業者数は、一般廃棄物処理基本計画に基づき、適切な体制が確保されているため、廃棄物の分別区分や量が大幅に増加するなど適正な体制確保のため特に必要な場合を除き、現在の範囲内とする。ただし、事業系一般廃棄物のうち、すきとり物等を収集・運搬する場合は、必要に応じて対応する。

#### ②許可車両の変更等

許可車両の変更は、許可業者の事業規模、業務実績及び事業計画等を勘案し、ごみ処理基本計画の方針及び関係法令に沿った適正な収集・運搬が見込まれる場合に限るものとする。

## 5. 一般廃棄物の処理主体及び処理計画

### (1) 生活系ごみ

区分	収集及び運搬主体	中間処理		最終処分	
		処理主体	処理方法	処理主体	処理方法
生ごみ	市（委託）	富良野広域連合	堆肥化	占冠村	埋立
固体燃料ごみ	//	市（委託）	固体燃料化	—	—
枝草類	//	市（委託）	選別・資源化	—	—
陶磁器ガラス	//	市（委託）	保管	市（直営）	埋立
乾電池類	//	市（委託）	選別・保管	—	—
空き缶・金属類	//	市（委託）	選別・圧縮	—	—
新聞雑誌ダンボール	//	市（委託）	選別	—	—
大型ごみ・電気製品	//	市（委託）	分解・選別	—	—
灰（施設残渣含む）	//	市（委託）	保管	市（直営）	埋立
ペットボトル	//	中富良野町	再商品化	—	—
プラスチック類	//	中富良野町	再商品化	—	—
空きびん	//	中富良野町	再商品化	—	—
衛生用品	//	上富良野町	焼却	上富良野町	埋立
動物死体	//	南富良野町	焼却	南富良野町	埋立

## (2) 事業系一般廃棄物

区分	収集及び運搬主体	中間処理		最終処分	
		処理主体	処理方法	処理主体	処理方法
事業系一般廃棄物	許可業者	市（委託）	生活系ごみの分別区分による	市（直営）	埋立
直接ごみ	排出者	//	生活系ごみの分別区分による	//	//

○事業活動に伴って排出されるごみは、排出者自らの責任において適正に処理することを原則とする。  
自ら処理できない場合には、排出事業者自ら処理施設へ搬入するか、または、許可業者に収集に依頼する。

## (3) 処理計画

区分	生ごみ	固形燃料ごみ 一部、衛生用品	資源ごみ他	焼却他 衛生用品、動物死体	埋立処分 灰・陶磁器ガラス
搬入量	1,947	2,339	1,760	495	118
計	資源化再生利用 6,046トン (搬入量の 90.8 %)			焼却・埋立ごみ 613トン (搬入量の 9.2 %)	
	処理量 6,659トン				

### Ⅲ. 廃棄物の処理及びリサイクル事業実績（令和4年度）

#### 1. 普及啓発活動実績

##### （1）ごみ減量化、啓発活動の実施

- ・毎月発行の市広報紙に「ごみQ&A」掲載
- ・リサイクル掲示板の月1回発行（広報・くらしの情報）
- ・警告シール貼付けによる分別不適ごみの再分別指導（貼付枚数計3,507枚）
- ・分別不適ごみ排出者への分別指導（計18回）
- ・固体燃料ごみ塩分ダイエット（広報、ホームページ掲載）
- ・資源回収カレンダーの配布（年3回）
- ・資源回収ステーション、飛散防止ネット設置補助（ステーション8基、ネット4件）
- ・リサイクルセンター施設見学の受入（視察7団体及び個人、計132名）
- ・ふらの環境展2022開催（9月2日～9月4日、参加団体9団体）
- ・リサイクルマーケット開催（来場者数415名、販売枚数1,866枚）
- ・春秋の環境美化運動の実施（参加団体135団体、参加人数4,437名）
- ・ごみ分別アプリ「ごみナビ」をリリース（年間ダウンロード数943、累計5,480）

##### （2）廃棄物減量等推進審議会の開催

###### ○審議会【第1回】

日 時 令和4年8月18日（木）

場 所 書面開催

###### 【議事】

- ・令和4年度廃棄物の処理及びリサイクル事業概要について
- ・一般廃棄物処理基本計画策定スケジュール

###### ○審議会【第2回】（出席者7名）

日 時 令和5年2月2日（木）

場 所 富良野市複合庁舎1階 会議室C

###### 【議事】

- ・富良野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）について
- ・富良野市生活排水処理基本計画について

## 2. ごみ処理関係実績

### (1) ごみの総搬入量

区分	生ごみ 枝草	固形燃料ごみ 一部衛生用品	資源ごみ	粗大ごみ 乾電池類	衛生用品 動物死体	灰 陶磁器・ガラス等
搬入量	2,446.7	2,338.5	1,165.6	96.5	494.8	117.2
計	資源化再生利用 6,047.3 トン (搬入量の 91.8%)				焼却・埋立ごみ 612 トン (搬入量の 9.2 %)	
搬入量 6,659.3 トン						

### (2) ごみの総処理量

区分	生ごみ他	固形燃料	再生利用	焼却処理他	埋立処分
搬入量	1,881.4	2,332.6	1,729.1	494.8	221.4
計	資源化再生利用 5,943.1 トン (搬入量の 89.3 %)			焼却・埋立ごみ 716.2 トン (搬入量の 10.7 %)	
処理量 6,659.3 トン					

### (3) 資源化・焼却・埋立処理率の推移 (%)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
有機肥料化率	32.4	31.7	32.4	30.2	29.9	29.4	30.0	28.4	28.1	28.3
固形燃料化率	34.3	36.4	35.6	36.8	36.0	35.5	34.9	35.3	35.4	35.0
有価物回収率	22.9	22.9	22.6	22.6	23.4	24.3	24.3	25.9	26.1	25.6
資源化率計	89.6	91.0	90.6	89.6	89.3	89.2	89.2	89.6	89.6	89.3
焼却処理率	7.4	5.9	6.1	7.3	7.2	7.1	7.1	7.6	7.4	7.4
埋立処理率	3.0	3.1	3.3	3.1	3.5	3.7	3.7	2.8	3.0	3.3

(4) 粗大ごみ処理実績

(個)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
小型電気袋	1,516	1,455	1,527	1,300	1,363	1,437	1,591	1,818	1,312	1,354
小 型	6,293	5,964	6,287	5,952	6,104	5,134	4,808	6,053	6,184	6,644
中 型	554	567	470	630	547	547	613	778	586	654
大 型	244	220	207	259	247	256	302	388	317	291
合 計	8,607	8,206	8,491	8,141	8,261	7,374	7,314	9,037	8,399	8,943

(5) 有機肥料・固体燃料の生産、出荷量、販売金額実績

①有機肥料(コンポスト)

区 分	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
生 産 量	トン	419	383	341	253	260	249	412	387	345	420
出 荷 量	トン	877	535	358	252	530	573	567	860	732	864
販売金額	千円	2,837	1,946	1,335	963	1,910	1,971	1,868	3,027	2,697	3,066

※富良野地区環境衛生センターより

※生産量は富良野市から発生した生ごみの量から按分

※出荷量と販売金額は、富良野地区環境衛生センターで出荷した総数（1m<sup>3</sup> 400kgで算出）

②固体燃料(RDF)

区 分	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
生 産 量	トン	2,450	2,492	2,251	2,058	2,251	2,351	2,109	2,114	2,060	2,010
出 荷 量	トン	2,346	2,258	2,499	2,283	1,970	2,065	2,032	2,013	1,976	1,735
販売金額	千円	2,349	2,371	2,716	6,161	5,319	5,576	5,525	5,534	5,433	4,920
市内利用	トン	-	-	-	-	88	98	8.1	4.3	102.9	208.7

※富良野市リサイクルセンターより

※平成28年度より売却単価改定

(6) 資源回収ステーション等設置数(R5.4.1 現在)

資源回収ステーション設置数

市街地区域	605
農村区域	71
合 計	676

空きびんポスト設置数

合 計	237
-----	-----





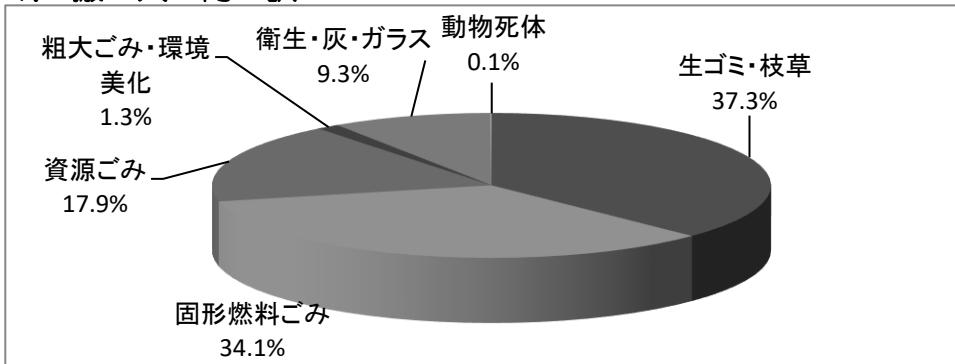


# 富良野市の一般廃棄物の分別区分と収集処理の推移

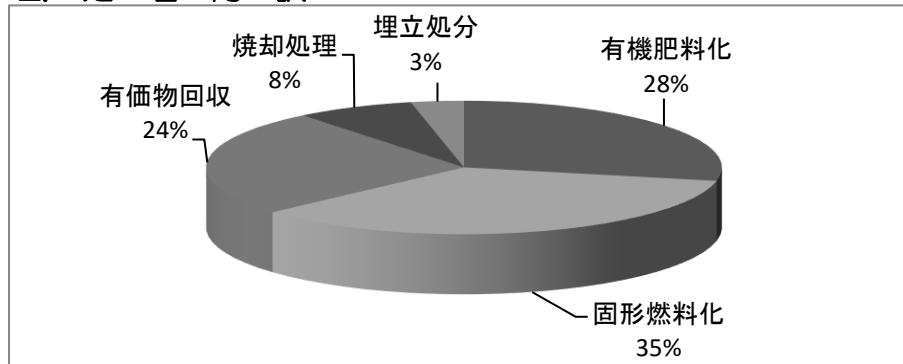
令和5年4月作成：市民生活部環境課

		S60.4有機C 処理開始	S63.7 固形処理開始	H1.12 焼却開始	H7容器リサ法	H14.12 焼却施設廃止	H13 家電リサ法	令和4年度		= 広域共同処理	
昭和58年以前 分別なし	昭和58年 3種分別試行	昭和60年度 3種分別	昭和63年度 6種分別	平成5年度 7種分別 家庭系事業系区分	平成12年度 10種分別	平成13年度 14種分別	平成13年10月 14種分別	令和4年度	処理方法	搬入先・利用方法等（平成27年度）	
混合ごみ 全量埋立	生ごみ 乾電池	生ごみ 2,445.9 t 乾電池 1.3 t	生ごみ 3,224.8 t 乾電池 1.8 t	生ごみ 3,239.5 t 乾電池 3.9 t	生ごみ 3,224.8 t 乾電池 9.9 t	生ごみ 3,197.0 t 乾電池・蛍光管 15.4 t	生ごみ 1,946.6t 乾電池・蛍光管 9.7t	14種分別 平成14年12月より 焼却施設の廃止	有機肥料化 委託処理（再資源化） 回収業者に 引き渡し（再資源化） 指定法人へ 固体燃料化 再資源化 指定法人へ 指定法人へ 焼却処理 資源化試験検証 埋立処分 焼却処理 堆肥化（草） 燃料化（枝） 素材ごとに分解し 再資源化 環境美化・不法投棄ごみ 6.0t	富良野広域連合 環境衛生センター 野村興産㈱ トム&ムラカミ 北海道リサイクル事業所 佐山建設工業㈱本社工場 コス・A・M・G㈱ ガラスリサイクルセンター 王子エフテックス㈱江別工場 北海道地域暖房㈱	農地利用 家庭菜園利用 金属回収等 アルミ・スチール再生利用 再生紙利用 ジヤハソテック㈱苫小牧工場 田中石灰工業㈱旭川プロダクツ再生センター
	その他のごみ 全量埋立	その他のごみ 埋立 4,734.2 t	固体燃料ごみ 1,102.6 t	固体燃料ごみ 1,899.5 t	固体燃料ごみ 1,675.1 t	固体燃料ごみ 1,633.2 t 新聞雑誌段ボール類 301.5 t	固体燃料ごみ 2,231.5t 新聞雑誌段ボール類 350.3t	14種分別 平成14年12月より 焼却施設の廃止	有機肥料化 委託処理（再資源化） 回収業者に 引き渡し（再資源化） 指定法人へ 固体燃料化 再資源化 指定法人へ 指定法人へ 焼却処理 資源化試験検証 埋立処分 焼却処理 堆肥化（草） 燃料化（枝） 素材ごとに分解し 再資源化 環境美化・不法投棄ごみ 6.0t	富良野地区 清掃事業協同組合 (財)日本容器包装 リサイクル協会 富良野市 リサイクルセンター 富良野地区 清掃事業協同組合 (財)日本容器包装 リサイクル協会 (財)日本容器包装 リサイクル協会 上富良野町 クリーソセンター 富良野市 リサイクルセンター 富良野市富丘 埋立処分場 南富良野町 小動物焼却施設 富良野市 リサイクルセンター 富良野市 リサイクルセンター	農地利用 家庭菜園利用 金属回収等 アルミ・スチール再生利用 再生紙利用 ジヤハソテック㈱苫小牧工場 田中石灰工業㈱旭川プロダクツ再生センター
				一般ごみ 焼却 492.3 t 埋立 2,516.3 t	一般ごみ 焼却 2,334.2 t 埋立 145.9 t	一般ごみ 焼却 2,794.7 t 埋立 30.7 t 剪定枝 65.9 t 粗大ごみ 34.3 t	一般ごみ 焼却 1,577.9 t 灰類 33.1 t 動物死体 1.2 t 枝草類 135.4 t 大型ごみ・電気製品 145.9 t	14種分別 平成14年12月より 焼却施設の廃止	有機肥料化 委託処理（再資源化） 回収業者に 引き渡し（再資源化） 指定法人へ 固体燃料化 再資源化 指定法人へ 指定法人へ 焼却処理 資源化試験検証 埋立処分 焼却処理 堆肥化（草） 燃料化（枝） 素材ごとに分解し 再資源化 環境美化・不法投棄ごみ 6.0t	富良野広域連合 環境衛生センター 野村興産㈱ トム&ムラカミ 北海道リサイクル事業所 佐山建設工業㈱本社工場 コス・A・M・G㈱ ガラスリサイクルセンター 王子エフテックス㈱江別工場 北海道地域暖房㈱	農地利用 家庭菜園利用 金属回収等 アルミ・スチール再生利用 再生紙利用 ジヤハソテック㈱苫小牧工場 田中石灰工業㈱旭川プロダクツ再生センター
											枝・燃料利用 草・堆肥化利用 金属・木くず・配線基盤等回収
年間搬入量 t／年	7,181.4 t	8,134.5 t	8,300.3 t	8,956.1 t	8,826.3 t	6,659.3t					
処理後	埋立処分率 0.0%	44.4%	15.0%	0.3%	0.5%	3.3%	焼却率 7.3%	7.4%	70.0%	89.3%	
	資源化率 27.1%	48.3%	56.0%	62.1%							

## 1. 搬入内訳



## 2. 処理内訳



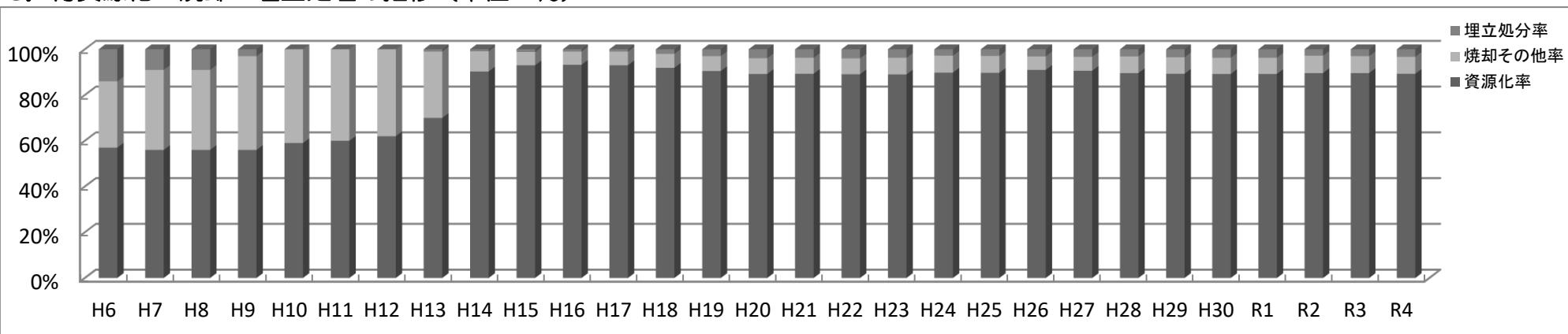
(単位:t)

区分	生ゴミ・枝草	固体燃料ごみ	資源ごみ	粗大ごみ・環境美化	衛生・灰・ガラス	動物死体
投⼊量	2,446.7	2,238.5	1,175.3	86.8	608.0	4.0
計	資源化対象ごみ (搬入量の 90.7 %)				焼却埋立ごみ (搬入量の 9.3 %)	
	6,559.3 トン					

(単位:t)

区分	有機肥料化	固体燃料化	有価物回収	焼却処理	埋立処分
処理量	1,881.4	2,332.6	1,729.1	494.8	221.4
計	資源化再生利用 (処理量の 89.3 %)			焼却・埋立 (処理量の 10.7 %)	
	6,659.3 トン				

## 3. 再資源化・焼却・埋立処理の推移 (単位 : %)



	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
資源化率	57.0	56.0	56.0	56.0	59.0	60.0	62.0	70.0	90.3	93.0	93.1	93.0	91.9	90.5	89.2	89.3	89.1	89.0	89.8	89.7	91.0	90.6	89.6	89.3	89.2	89.2	89.6	89.3	
焼却その他率	29.0	35.0	35.0	41.0	41.0	40.0	38.0	29.0	8.8	5.8	5.8	6.0	6.1	6.5	6.9	7.0	6.9	7.3	7.4	7.4	5.9	6.1	7.3	7.2	7.1	7.1	7.6	7.4	7.4
埋立処分率	14.0	9.0	9.0	3.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.9	1.2	1.0	1.0	2.0	3.0	3.9	3.7	4.0	3.7	2.8	2.9	3.1	3.3	3.1	3.5	3.7	3.7	2.8	3.0	3.3

# 一般廃棄物処理フローと令和4年度処理実績

令和5年4月作成 : 市民生活部環境課



《搬入合計 6,659.3 t》

A 再生利用 5,943.1 t 89.3 % {(D-B-C)/D}  
B 焼却処理 494.8 t 7.4 % (B/D)  
C 埋立処分 221.4 t 3.3 % (C/D)

《処理合計D 6,659.3 t》

## IV. リサイクル事業の組織等

### 1. 機構・事務分掌 《別表1》

### 2. 施設の現況（令和5年4月）

#### (1) 不法投棄ごみ及び動物死体一時保管庫（車両センター）

(単位:千円)

施設名	所在地	建築構造	延床面積	竣工年月	建築価格
車両センター車庫	富良野市花園町	鉄筋コンクリート	300.0m <sup>2</sup>	平成4年9月	26,832

#### (2) リサイクルセンター

##### ①管理事務所 (TEL 0167-42-2102 FAX 42-2341)

(単位:千円)

施設名	所在地	建築構造	延床面積	竣工年月	建築価格
施設管理事務所	字山部西20線21番地	木造モルタル2階	94.77m <sup>2</sup> 222,345m <sup>3</sup>	昭和59年12月 昭和62年11月増設	11,875 29,764

##### ②有機物供給センター（休止中）

(単位:千円)

事業名	処理能力	建物面積	発酵槽型式	竣工	事業費
新地域農業生産 総合対策事業	30t/日	1,517m <sup>2</sup>	箱型発酵槽・スクープ式 攪拌(4槽×3基)	昭和60年3月 平成3年11月増設	475,480

##### ③保管施設

(単位:千円)

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
バーク用原料庫	鉄骨造り	200.0m <sup>2</sup>	昭和60年度	9,570	
バーク用原料庫	鉄骨造り	157.0m <sup>2</sup>	昭和63年度	7,280	

##### ④固形燃料化施設（平成13年度 機械設備更新）

(単位:千円)

事業名	処理能力	建物面積	発酵槽型式	竣工	事業費
農村地域定住促進 対策事業	7.2t/日 (固形燃料設備)	1,017m <sup>2</sup>	固形燃料製造設備 一式 減容設備 一式 ボイラ 一式	昭和63年7月	288,980
廃棄物処理施設 整備事業 (ごみ燃料化施設)	15.12t/日 (固形燃料設備更新)		機械設備 一式 電気計装設備一式 建築付帯設備一式	平成14年3月	273,000

##### ⑤保管施設

(単位:千円)

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
固形燃料製品庫	鉄骨造り	194.4m <sup>2</sup>	平成元年度	7,385	
固形燃料製品庫	鉄骨造り	194.4m <sup>2</sup>	平成2年度	7,416	
固形燃料製品庫	鉄骨造り	194.4m <sup>2</sup>	平成3年度	7,983	

⑥一般廃棄物処理施設（平成14年12月廃止）

(単位:千円)

処理能力	建物面積	燃焼設備	竣工	事業費
1,321t/時 ×2基	502m <sup>2</sup>	炉型式、固定バッチ式、燃焼型式、自然対流方式 火格子面積 6.6m <sup>2</sup> /炉	平成元年12月 平成14年12月廃止	99,794

⑦保管施設

(単位:千円)

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
焼却ごみ保管庫	鉄骨造り	144.0m <sup>2</sup>	平成元年度	2,560	

⑧ストックヤード

(単位:千円)

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
陶磁器ガラス堆積所	ブロック構造	152.0m <sup>2</sup>	平成元年度	2,846	

(3) 富丘埋立処分場

①最終処分場

(単位:千円)

埋立面積・容量	埋立方法	設備	竣工	事業費
4,500m <sup>3</sup> 20,600m <sup>3</sup>	セル方式による 準好気性埋立	処理能力 20m <sup>3</sup> /日 処理方式 接触ばっさり+沈殿法 処理水質 BOD 20PPM MSS70PPM	平成5年12月	247,338

②保管施設

(単位:千円)

施設名	建築構造	延床面積	竣工年月	事業費	備考
資材倉庫	鉄骨造り	89.54m <sup>2</sup>	平成元年度	3,997	所在 西富丘

(4) 車両の現況

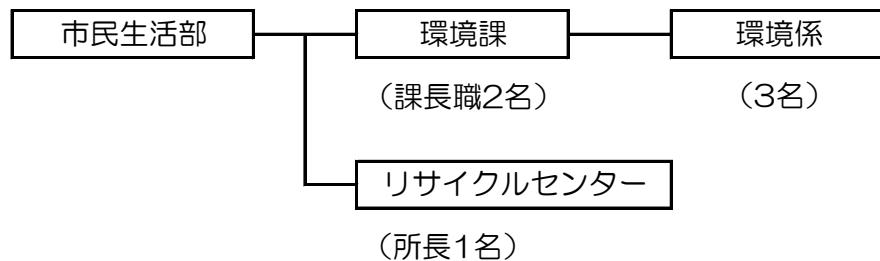
	車両センター	リサイクルセンター	環境課	計	備考
ごみ収集車				0	
大型重機		5		5	
連絡車		1		1	
分別指導車			1	1	
フロン回収車				0	
計		6	1	7	

大型重機内訳

(単位:千円)

車種	登録番号・車号・年式	型式	取得価格	備考
ダンプ車12m <sup>3</sup> (積載量3.10t)	旭11つ3566 平成7年3月	いすゞU-FRR32GI改	7,179	平成7年3月から使用
ショベルローダ	旭00る5708 平成30年11月	日立 ZW80	4,914	平成30年11月から使用
バックホー	平成21年6月	日立 ZX120-3	6,210	平成28年6月から使用
フォークリフト トヨタ	平成21年6月	02-8FD20	2,625	平成21年6月から使用
ショベルローダ 1m <sup>3</sup>	旭00る7514 平成9年7月	小松メック WO65	6,184	平成9年7月から使用

《別表1》 ◎機 構 (令和5年4月1日)



◎事務分掌 (令和5年4月1日)

環境課

- (1) 環境保全に関すること。
- (2) 環境基本計画及び保全行動計画の推進に関すること。
- (3) 環境審議会に関すること。
- (4) 再生可能エネルギー導入促進に関すること。
- (5) 公害防止対策に関すること。
- (6) 騒音規制法、振動規制法及び悪臭防止法に関すること。
- (7) 環境測定に関すること。
- (8) 廃棄物の処理、減量化、リサイクル及び清掃に関すること。
- (9) 一般廃棄物処理計画に関すること。
- (10) 廃棄物減量等推進審議会に関すること。
- (11) 一般廃棄物の分別及び指導に関すること。
- (12) ごみ処理手数料の徴収に関すること。
- (13) 一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業等の許可及び指導監督に関すること。
- (14) 資源回収ステーションの設置補助に関すること。
- (15) 一般廃棄物の処理に係る市町村間協議及び調整に関すること。
- (16) 廃棄物の不適正処理及び不法投棄に関すること。
- (17) し尿等の収集計画に関すること。
- (18) 富良野生活圏一般廃棄物広域分担処理検討協議会に関すること。
- (19) 廃棄物に係る研修及び視察等の受け入れに関すること。
- (20) その他環境保全及び廃棄物に関すること。

リサイクルセンター

- (1) リサイクルセンターの運営管理に関すること。
- (2) 一般廃棄物富丘埋立処分場の運営管理に関すること。
- (3) 固形燃料の利用促進に関すること。

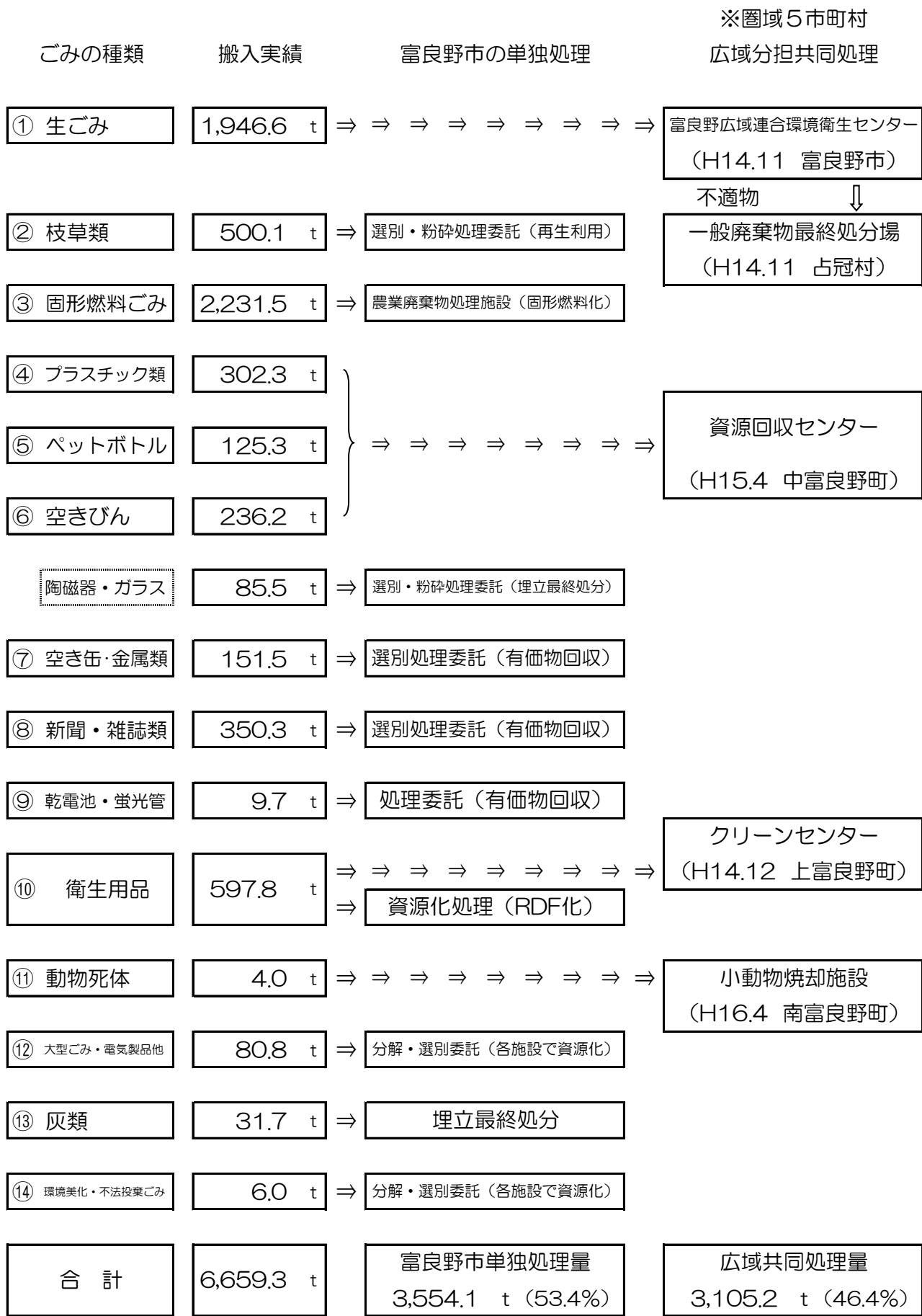
### 3. 廃棄物処理関係歳入歳出実績

〈令和3年度〉

(単位：円)

歳 入		歳 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
○手数料	4,238,900	○一般廃棄物の収集運搬に要した 経費 (内不法投棄回収：37,552円)	118,954,000
・粗大ごみ処理手数料	4,178,900		
・廃棄物収集運搬・処分業等 許可申請手数料	60,000	○リサイクルセンターの運営管理に 要した経費	116,822,500
○有価物売却代	1,955,589	○埋立処分場の維持管理に要した 経費	3,843,472
○固形燃料売却代	5,432,674	○ごみ減量と再資源化啓発事業 に要した経費	1,693,011
○その他雑入	○	○ごみステーション設置補助に要 した経費 (9基・ネット12枚)	280,000
○富良野市一般財源	419,699,227	○衛生用品資源化処理試験に 要した経費	8,016,629
		○一般廃棄物の広域処理に要し た経費 (1市3町1村)	161,395,875
		・富良野広域連合一般会計予算市町村 負担金の衛生ゼタ一分 (生ごみ)	117,128,503
		・資源回収センター管理運営費負担金 (中富良野町 プラ・ペット・空きびん)	16,338,727
		・動物死体処理施設管理運営費負担金 (南富良野町 動物死体)	2,736,786
		・衛生用品処理負担金 (上富良野町 衛生用品・ʌ°ット用トイレの砂)	25,191,859
		○ごみ処理に要した人件費	20,320,903
合 計	431,326,390	合 計	431,326,390

## V. 一般廃棄物の広域分担処理フロー（令和4年度実績）



富良野市では、「分ければ資源・混せればごみ」を合言葉に  
市民の皆様とごみの分別リサイクルに取り組んでいます。

## 富良野市市民生活部環境課

〒076-8555 北海道富良野市弥生町1番1号  
TEL : 0167-39-2308/FAX : 0167-23-1313